

- ・留学期間：1 年次 春期
- ・所属学科：幼児教育学科

多様な学生が学ぶ TRU

TRU は留学生の多い学校で、色んな国の人に出会うことができます。実際に声を掛けることはできなかったのですが、服装だったり言葉だったり、様々な文化の違いに気づくことができましたと感じています。また、学校自体がすごく大きくてその分施設も充実していました。ジムや室内グラウンド、有名なドーナツ屋さんなどがあり、いるだけでとてもたのしい場所です。スケートボードで校内を移動したり、バスケットボールをしていたりと映画で見るようなスクールライフが見られてとても興奮しました。

TRU での印象的な出来事

私は一度校内で迷ってしまったことがありました。その時はイベントの練習で遅くなり日は暮れていました。友達とは帰宅方向が違ったため一人でとても不安でいっぱいでした。思わず日本の自宅に電話をしてしまったことを覚えています。バス停を探して歩いていると学生がいたので勇気を出して声をかけました。すると、相手の人も頑張って私の英語を理解しようとしてくれて最後にはバスの時間を調べてバス停まで案内してくれました。全く違う国で英語も全然話せない私に親切にくださり、心が温まりました。親切な人が多いとは聞いていましたが、本当にそうなんだなと実感できた瞬間でした。

現地ではどういう勉強をしたか

英会話を主にしました。それも、たのしい実践を通して行いました。ジェスチャーゲームや実験、TRU の学生に英語で質問をしに行ったりしました。授業中に日本語を使うとスクワットをするなどのルールを作ると、楽しんで授業を受けていました。

ホームステイ先のご家族との思い出

ハイキングに行きました。木は一切ない場所で険しい道が続いたのですが、街が一望できる素晴らしい場所でした。その日は娘さん達も集まって来て家族全員で行ったのでとても楽しかったです。また、ホームステイ先のお母さんとは色んなお店に行きました。お母さんのおすすめのお店を回ってたくさんのお土産を買いました。そこでお母さんは美味しい食べ物も買ってきて毎日お腹いっぱい幸せでした。スイーツ作りが好きと言うとお母さんのスイーツレシピをたくさん教えてくれました。そして、クッキーやマフィンと一緒に使って食べました。流暢に話せなくても、一緒に楽しく料理したり出かけたりできました。

自分が成長できたと思えるところ

たった 3 週間でしたが、日本とは違う文化を直に感じて自分の考え方や視野が広がったように感じています。特に、他人へ声をかけることへの抵抗が少し減りました。カナダでは知らない人にでも目が合えば挨拶をしたり、バスに乗っていれば近くの席の人が「留学に来たの？楽しめてる？」など笑顔で話かけてくれます。困っている時も「何か手伝おうか？」と声をかけてくれます。そんな経験をして戸惑うことばかりですが、改めて考えると自分を含め日本人はシャイなのかもしれないと思うようになりました。実際声をかけられて驚きはするものの、嫌な気持ちにはなりません。そこから、私自身も困っている人がいれば知らない人でも手を差し伸べるよう行動することができました。

生活習慣の違いについて

また、生活習慣も全く違います。そこで 1 番に感じたことは「日本人は忙しい」ということです。私だけが感じていたのかもしれませんが、カナダで生活している 3 週間は日本で過ごす時間よりも 1.5 倍ぐらい長く感じます。一日に必ず自分だけや家族と過ごす時間があります。それでも寝る時間は平均 10 時ぐらいでした。頑張りすぎず、自分の時間は大事で、それが心に余裕を持たせるのかなと感じました。そのため、視野を広く持ち柔軟に考えることができるようになったかもしれないです。

TRU 留学をおすすめしたい点

学校に行くためにバスの定期切符をもらえます。なので是非バスに乗って街を散策してください。日本にはない街並みだったり、お店だったりに出会います。近くにあるスーパーに行くだけでもとても楽しいですよ。街並みも、雰囲気も、人も、言葉も、家の作りも、お店も、何もかも日本とは違います。そんな地に立っていることに不思議な気分になります。「世界って広いんだな。もっと知りたい。」と自分の中の世界が広がると思います。なかなか経験できない絶好の機会です。是非自分自身で体感してほしいと思います。